

## 21年度連続講座を夜間に開講

「エピソード記述から学ぶ」をテーマに

— 3回連続で延べ2,000人近くが参加されました —



モニターを通じて別室で学ぶ熱心な聴講者

6月3日、10日、17日と3週にわたり、「エピソード記述から学ぶ ～保育の質の向上を目指して～」と題し、夜間の連続講座を開催いたしました。講師には、昨年度に引き続き中京大学の鯨岡峻教授をお招きし、

- 第1回 なぜ、保育の場にエピソード記述が必要なのか
- 第2回 エピソード記述で保育を描く
- 第3回 エピソード記述の成果を「要録」に生かす

という3つの視点からお話をいただきました。

20年度に実施した連続講座「いま改めて、保育の基本は何かを考える」の続編として、より実践的な内容であり、「させる保育」になっていないか、日々の保育を振り返り次への保育に生かしていく方法としてエピソード記述、「要録」は何のために書くのかなどについての提言をいただきました。

この講演会のビデオ・DVDを貸出しています

平成20年度 共同機構研修会 第6回 ——— 平成21年1月23日(金)

京都市保育士会共催

# 発達障がい児と気になる子どもの見方と対応

講師 友久 久雄 龍谷大学教授

京都教育大学名誉教授，龍谷大学臨床心理学教授。京都大学医学部付属病院医師。専門分野は精神医学・臨床心理学・仏教カウンセリング。主な著書「学校カウンセリング入門」「発達障がい児への医学的支援」「輝く命をみつめて」「学校カウンセリングの理論と実践」他。

発達障がい児や気になる子どもは，特別な子どもではありません。保護者も保育園（所）・幼稚園に専門的な医療や療育を期待しているわけではなく，我が子が他の子どもと同じ様に子どもの中で育つことを願っています。それ故，その子どもが子どもの中で楽しく過ごすことができるよう橋渡しをするのが保育者の仕事です。

そのためには，これまでの経験に頼るだけではなく，「自閉性障害」「アスペルガー障害」「学習障害」「注意欠陥／多動性障害」など発達障害について学び，それぞれの特徴をよく知ることが大切です。そのうえで，この特徴が子どもたちの言動にどのように現われているかを把握し，その行動特徴に応じたかかわりを持つことが大切です。

津守式の検査を用いれば，障害のある子どもの発達の様子には特徴が見られますので，障害の有無や「発達障害」なのか，「気になる子ども」なのかを見分けることはできます。しかし，これはあくまでも目安であり，保育・教育で大切にしなければならないのは，集団の中での子どもの姿を理解し，丁寧にかかわっていくことです。検査の結果についても，保育者の視線で見直すことを忘れないようにして，検査の結果のみに振り回されてはなりません。

障害のある人が不自由だと感じない社会をつくるためには，社会の人がその人たちに対して偏見をもたないことが大切です。乳幼児期から，障害のある子どももそうでない子どもも一緒に過ごすことにより，共に生活することを自然に感じて育つことはとても重要です。知識で学ぶだけでは心は伴いません。保育所・幼稚園で統合保育する重要性はそこにあります。

この講演会のビデオ・DVDを貸出しています

平成21年度 共同機構研修会 第1回 — 平成21年4月24日(金)

京都市保育園連盟共催

# 保育者の専門性を高めるために

～保育所保育指針改定, 幼稚園教育要領改訂を踏まえて～

講師 柏女 霊峰 淑徳大学教授

淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授・同大学院教授。臨床心理士。専門分野は児童福祉論、児童福祉心理学。主な著書「事例でわかる！保育所保育指針・幼稚園教育要領」（共編）、「子ども家庭福祉論」, 「これからの保育者に求められること」他多数。

保育所保育指針・幼稚園教育要領が指し示す保育の方向として、6つの特徴的な部分と1つの変わらない保育観の7つに整理してみました。

- 1 保育所保育指針の改定, 幼稚園教育要領の改訂のキーワードは, 「発達の連続性」, 「学びの連続性」, 「家庭生活との連続性」の3つだということです。
- 2 幼稚園で行っていることは保育所でも, 保育所で行っていることは幼稚園でも行うように決められたことが何点かあり, 保育所と幼稚園の接点が図られています。なお, 保育所は社会福祉施設であり, 幼稚園は学校であるという固有性も大切にしています。
- 3 保育所の社会的使命について, 子どもの人権尊重, 説明責任, 苦情解決, 保育の質の向上のための責務などについて明確に規定されています。
- 4 子どもや保護者の気持ちを受け止めることの大切さが強調されています。
- 5 子どもの成長の喜びを共有し, 保護者の状況を踏まえ, 子どもと保護者の安定した関係に配慮して, 保護者の養育力・教育力の向上に資するように適切に援助・支援することが求められています。
- 6 保育者の資質向上が求められています。
- 7 保育者の子どもとの応答的な関わりや子どもと子どもとの仲立ちを通して, 子どもに民主的な人間関係を取り結び, 個の尊重などを培っていくこととなります。これが, 人間として生きる力の基礎になっていくという変わらない保育観も大切にしていかなければなりません。

最後に, 保育所・幼稚園の現場から, 乳幼児期の保育の大切さを発信していくことが望まれます。

この講演会のビデオ・DVDを貸出しています

## こどもみらい館10周年記念講演会

21年度、こどもみらい館は10周年を迎えます。いくつか記念事業を企画していますが、その一つとして、記念講演会を行います。保育園(所)・幼稚園の先生方にも御参加いただけます。

**永田 雨 さん** (イラストレーター, 絵本作家)

**「共に育つ心 共に育てる心」**

平成21年11月15日(日)  
こどもみらい館 第1研修室

## Information

インフォメーション

### 共同機構研修会案内

8/5(水)

遠藤 利彦 東京大学大学院准教授

京都市保育士会共催

**「乳幼児期に大切にしたい心の育ちと  
保育者の役割」**

案内状発送は7月6日予定,  
申込締切は7月29日です

乳幼児期にどのように子どもの心が育つのかを知り、その心の育ちを引き出すために大切な保育者の役割とは何かについて学びたいと思います。

9/11(金)

民秋 言 白梅学園大学教授

京都市私立幼稚園協会共催

**「保幼小連携と保育内容の充実」**

案内状発送は7月21日予定,  
申込締切は9月4日です

保育所保育指針改定、幼稚園教育要領・小学校学習指導要領改訂に伴い、改めて保幼小連携の重要性がクローズアップされています。子どもの育ちの連続性に重点をおいた連携のあり方や保育者と小学校教諭の相互理解と研鑽、また、幼稚園における指導要録と新たに保育所保育指針に盛り込まれた保育要録の観点などについて詳しく学びたいと思います。

### 編集後記

「保育士になってうまくやっっていけるかしら」「幼稚園の先生になりたいけど、手遊びとかあんまり知らないし、大丈夫かな」…学生さんの悩みの声に、先生方の優しくそして大切なことを伝えたいという真摯な思いを込めた声が応えています。こどもみらい館では、これから保育士・幼稚園教諭を目指す養成大学の学生を対象に「学生のための保育者養成講座」を行っています。6月には、「手遊び等の実技実習と現職保育者との交流会」等4つの講座を実施しました。民営保育園からは光林保育園の嶋本先生、市営保育所からは久世第二保育所の西村先生と砂川保育所の石田先生、私立幼稚園からは高倉幼稚園の村上先生、公立幼稚園からは竹田幼稚園の高橋先生に講師として来ていただきました。それぞれの持ち味を生かして、手遊びやふれあい遊びを教えていただき、その後に交流会を持ちました。「手遊びってさせるだけじゃなくて、その中で何を育てたいかが大事なんですね」「現職の先生方とお話することができて、改めて保育者になろうって思いました」生き生きとした瞳で語る学生さん。「待ってるよ、ステキな先生になってね」  
事業課事務局

子どもを育む喜びを感じ、  
親も育ち学べる取組を  
進めます。  
(「子どもを共に育む  
京都市民憲章」より)



発行日 平成21年7月1日  
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館  
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る  
Tel (075)254-5001 Fax(075)212-9909  
URL <http://www.kodonomirai.or.jp>